

報告事項 1

令和5年度事業報告について

1 救助実績

令和5年度においては、28件の救助出動を行い、沿岸における海難救助に貢献した。

なお、救助活動に出動した所員数は合計105名、出動船舶数は37隻となっている。

(1) 本会の救助実績

区 分	令和5年度	備考
救 助 出 動 数	28	福岡市水上消防団に所属する10救難所について、別途25件の出動実績（福岡市消防局）
救 助 船 舶 数	14	
救 助 人 員 数	35	

※ 救助の詳細については、別紙1のとおり。

(2) 最近5か年の救助実績

種 別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数	38	31	34	24	28
救 助 船 舶 数	12	13	15	10	14
救 助 人 員	40	39	39	29	35

令和5年度 海難救助出動 一覧表

No	発生日	出動 救難所	事故 区分	事 故 内 容	報告書 受理日	海保等 送付日	日本救 送付日	報奨金 決定日	報奨金 (船舶)	報奨金 処理日	送金 処理日	救助成果(数)	船舶人員
1	5.2.12	神湊	船舶	ミニボートが転覆との連絡を受け出動	5.3.2	5.3.2	5.3.14	5.4.28	10,000	5.4.28	5.5.15		
2	5.3.21	野北	船舶	浅瀬に乗り上げた船舶を発見との連絡を受け出動、船長を救助	5.3.27	5.3.30	5.4.18	5.4.28	36,000	5.4.28	5.5.15		1
3	5.3.31	柏原	船舶	ミニボートが転覆したとの海保からの連絡を受け出動	—	—	5.4.17	5.4.28	15,000	5.4.28	5.5.15		
4	5.4.2	津屋崎	船舶	PBが流されたとの連絡を受け出動、漁港まで曳航	5.4.6	5.4.10	5.4.24	5.6.1	45,000	5.6.1	5.6.15	1	2
5	5.4.2	神湊	船舶	PBが流されたとの連絡を受け出動、現海城で救助	5.4.10	5.4.10	5.4.24	5.6.1	40,000	5.6.1	5.6.15	1	7
6	5.5.2	鐘崎	船舶	うねりによる転覆の恐れありとの海保からの連絡を受け出動、陸から引上げ	5.5.12	5.5.12	5.6.2	5.7.3	15,000	5.7.3	5.7.14		
7	5.5.3	神湊	船舶	ゴムボートの船外機故障との連絡を受け出動、救助曳航	5.5.19	5.5.19	5.6.2	5.7.3	10,000	5.7.3	5.7.14	1	2
8	5.5.11	津屋崎	船舶	貸ボートが戻ってこないとの連絡を受け出動、発見し救助	5.5.17	5.5.18	5.6.2	5.7.3	20,000	5.7.3	5.7.14		1
9	5.5.11	神湊	船舶	貸ボートが戻ってこないとの連絡を受け出動、発見し救助	5.5.19	5.5.19	5.6.2	5.7.3	30,000	5.7.3	5.7.14	1	1
10	5.5.15	地島	船舶	ヨットが乗り上げているとの連絡を受け出動、発見し救助	5.5.19	5.5.19	5.6.2	5.7.3	25,000	5.7.3	5.7.14	1	1
11	5.6.3	津屋崎	船舶	貸ボートが転覆との連絡を受け出動、救助	5.6.13	5.6.16	5.7.11	5.8.2	20,000	5.8.2	5.8.14	1	
12	5.6.4	津屋崎	船舶	定置網にプレジャーボートが巻き込みの連絡を受け出動、救助	5.6.13	5.6.16	5.7.11	5.8.2	22,000	5.8.2	5.8.14	1	3
13	5.6.4	神湊	船舶	定置網にプレジャーボートが巻き込みの連絡を受け出動、救助	5.6.16	5.6.16	5.7.11	5.8.2	10,000	5.8.2	5.8.14		
14	5.6.16	野北	船舶	漂流中のボート救助要請があり出動、救助	5.6.27	5.6.27	5.7.4	5.8.2	10,000	5.8.2	5.8.14	1	1
15	5.7.2	岩屋	船舶	機関故障のプレジャーボートの救助要請を受け出動	—	—	5.7.14	5.8.2	10,000	5.8.2	5.8.14		
16	5.7.17	岩屋	船舶	ゴムボートが流されているとの連絡を受け出動	—	—	5.8.1	5.8.31	15,000	5.8.31	5.9.14		
17	5.7.17	野北	人身	遊泳者が戻らないとの連絡を受け出動	5.7.27	5.7.27	5.8.7	5.8.31	15,000	5.8.31	5.9.14		
18	5.8.4	津屋崎	船舶	プレジャーボートが帰ってこないとの連絡を受け出動	5.8.14	5.8.14	5.8.25	5.8.31	50,000	5.8.31	5.9.14		
19	5.8.6	大岳	船舶	機関故障の水上ボートの曳航要請があり出動	5.8.21	5.8.21	5.9.4	5.10.3	5,000	5.10.3	5.10.16	1	2
20	5.8.27	芥屋	人身	消防署の救助要請により出動、沖合で発見し救助	5.8.31	5.8.31	5.9.11	5.10.3	30,000	5.10.3	5.10.16		1
21	5.9.24	野北	船舶	船外機故障で流されているボートを発見、救助し港まで曳航	5.9.25	5.10.3	5.10.20	5.11.2	20,000	5.11.2	5.11.15	1	2
22	5.9.25	芦屋	船舶	沖合いにサップが流されているとの海保からの連絡を受け出動	—	—	5.10.16	5.11.2	10,000	5.11.2	5.11.15		
23	5.10.6	芦屋	人身	橋から人が転落したと海保から連絡を受け出動	—	—	5.10.23	5.11.30	10,000	5.11.30	5.12.14		
24	5.10.31	福岡	船舶	ボートのエンジントラブル発生との連絡を受け出動	5.11.9	5.11.9	5.11.24	5.11.30	15,000	5.11.30	5.12.14	1	2
25	5.11.8	荻田	船舶	海保から航行不能の漁船の救助要請があり出動し救助	5.12.4	—	5.12.4	5.12.28	10,000	5.12.28	6.1.16	1	2
26	5.11.27	大岳	船舶	海保から機関故障のミニボートの救助要請があり出動	6.1.18	6.1.18	6.1.30	6.3.6	20,000	6.3.6	6.3.15		
27	5.12.14	西浦	船舶	ぶつけられ曳航されたレジャー船が浸水状態のため救助	5.12.18	5.12.18	6.1.9	6.2.1	35,000	6.2.1	6.2.15	1	
28	6.2.23	神湊	船舶	タンカーが座礁しているとの海保からの連絡を受け出動	6.3.14	6.3.14	6.3.29						
29	6.3.17	姫島	船舶	遊漁船の火災の連絡を受け出動、避難していた船長等を引き継ぎ入港	6.3.25	6.4.8	6.4.15					8	
30	6.3.28	地島	船舶	タグボートが乗り上げたとの海保からの連絡を受け出動	6.3.29	6.4.1	6.4.12						
31	6.3.30	福岡	船舶	ボートが転覆したとの連絡を受け出動	6.4.8	6.4.8						1	
									553,000			14	35

備考欄は、一部県水産課から送付

2 訓練

海難救助訓練は、4救難所で実施されました。

救難所名 実施場所	実施時期	訓練の内容	参加人員 (参加所員数)
岐志新町救難所 岐志漁港周辺	4月21日	糸島消防署の指導によるもやい銃発射訓練、AED心肺蘇生法訓練	25 (25)
有明マリン救難所 労働福祉会館	7月1日	三池海上保安部指導による指導者研修	11 (5)
相島救難所 相島港周辺	7月15日	浸水船排水訓練、火災船消火訓練、救命索発射訓練	16 (16)
苅田救難所 北九州空港事務所	11月8日	通報訓練、実動訓練	250 (1)
計		4救難所	302 (47)

3 会議等

本会事業推進のため、下記のとおり会議等を開催し、行事に参加した。

月日	会議名等	場所	会議事項等
4月4日	令和4年度決算監事監査	局災害対策室	野上・島田監事
4月17日	第1回理事会	書面審査	令和4年度事業報告・収支決算(案)
4月26日	長崎県水難救済会総会	ホテルニュー長崎	会長、事務局長
5月16日	第22回定時総会	博多サンヒルズホテル	令和4年度収支決算(案)、役員の一部選任(案)
5月17日	日本水難救済会第1回理事会	海事センタービル	会長
5月28日	福岡県総合防災訓練	朝倉市、あまぎ水の文化村	金丸理事
5月31日	佐賀県水難救済会総会	唐津市水産会館	会長、事務局長
6月9日	日本水難救済会第131回定時総会	海運クラブ	会長
6月10日	築上町水難救助隊点検式	築上町中央公民館	金丸理事
7月19日	「海の日」表彰式典	プレミアホテル門司港	別記「海の日」表彰者
7月22日	臨時理事会	博多サンヒルズホテル	百周年事業に向けた取り組みについて
7月22日	救難所所長会議	博多サンヒルズホテル	海難救助出動報告に係る記載要領等について
10月15日	久留米駐屯地71周年記念	陸上自衛隊久留米駐屯地	事務局長
11月16日	第七管区海上保安本部展示総合訓練乗船	門司区西海岸	会長、事務局長、永島神湊救難所長
12月4日	第2回理事会	博多サンヒルズホテル	積立金取扱規程の一部改正、職務執行状況報告
3月12日	第3回理事会	博多サンヒルズホテル	令和6年度事業計画(案)、収支予算(案)
3月14日	日本水難救済会第3回理事会	海事センタービル	会長

4 監査

(公社)福岡県水難救済会監事監査 令和6年4月9日 於 防災危機管理局災害対策室

5 表彰

「海の日」表彰

(敬称略)

表彰名	所属	表彰者氏名
第七管区海上保安本部長表彰	岩屋救難所長	本田 政安
第七管区海上保安本部長表彰	大岳救難所長	山田 靖之
第七管区海上保安本部長表彰	常務理事	山口 文雄

6 出勤報奨金

令和5年度に日本水難救済会等により支給された出勤報奨金は、下記のとおりです。

出勤報奨金支給一覧表

(単位：円)

地区	救難所名	支給額	地区	救難所名	支給額
福岡地区	奈多		宗像地区	津屋崎	184,400
	志賀島			鐘崎	15,000
	箱崎			神湊	120,200
	玄界島			大島	
	唐泊			福岡	16,800
	西浦	36,800		地島	28,300
	姪浜			小計	364,700
	伊崎		北九州地区	宇島	
	能古			柏原	25,000
	小呂島			築上町	
	弘			波津	
	大岳	28,600		芦屋	24,800
小計	65,400	平松			
糸島地区	加布里			長浜	
	野北	98,700		馬島	
	姫島			藍島	
	船越			苅田	10,900
	深江		脇田		
	福吉		岩屋	29,200	
	岐志新町		小計	89,900	
	芥屋	31,800	有明地区	大川	
小計	130,500	柳川			
糟屋	相島			大和高田	
	小計	0		有明マリン	
			小計	0	
			合計	650,500	

7 青い羽根募金

青い羽根募金（一般募金）は、第七管区海上保安本部及び関係海上保安部の全面的な協力を得て、多くの方々から善意の提供を受け、多額の募金を頂戴した。

この募金については、今後とも積極的に広報・啓発活動を行い、毎年の募金実績を一定水準に維持することが、これからの救難資器材の調達等を安定的に実施できることであり、今後とも目標達成に努めたい。

- ・募金実施期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ・募金目標額 4,700,000円
- ・募金実績額 5,813,414円（対前年度比 101.2%）
- ・内訳（1）一般募金 2,684,558円（対前年度比 108.2%）
（2）支援自販機 3,128,856円（対前年度比 95.9%）

*手数料、電気代分を除く

(円)

募 金 使 途 内 容			
活動推進費	192,992	表 彰 費	60,610
募金活動資材費	487,967	出勤報奨・訓練奨励費(本会支出分)	30,000
救助用物品等購入費	2,761,538	AEDリース料	899,412

** 支援自販機の設置状況について **

青い羽根募金活動の一環として、CCW、関係者の協力を得て平成20年2月以降、支援自販機の設置に取り組んできた。

設 置 先 名 称 等	住 所 ・ 区 分	設 置 先 名 称 等	住 所 ・ 区 分
1. 海峡釣り公園	小倉北区・公共	20. 福岡マリーナ	東区・民間
2. 福岡市漁協唐泊支所	西区・民間	21. 西鉄新宮バス待合所	新宮町・公共
3. 道の駅むなかた	宗像市・民間	22. 若築建設(株)資料館前	若松区・民間
4. メイトム宗像	宗像市・公共	23. うみんぐ大島	宗像市・民間
5. 三池港駐車場	大牟田市・公共	24. 岐志新町漁港	糸島市・公共
6. 北九州エアターミナル	小倉南区・民間	25. 神湊市営渡船ターミナル	宗像市・公共
7. 三菱ケミカル(株)福岡事業所	八幡西区・民間	26. 道の駅みやま	みやま市・民間
8. 宗像漁業協同組合鐘崎本所	宗像市・公共	27. 脇田漁港フィッシャリーナ	北九州市・公共
9. 県庁議会棟	博多区・公共	28. 相島漁業協同組合	新宮町・民間
10. 福岡市消防局	中央区・公共	29. 大島漁業協同組合	宗像市・民間
11. 鐘の岬活魚センター	宗像市・民間	30. 七管北九州航空基地	航空基地・公共
12. ホテル・ザ・ルイガンズ	東区・民間	31. 宗像市役所北館2階	宗像市・公共
13. 日鉄ビジネスサービス九州(株)	戸畑区・民間	32. 宗像漁協鐘崎本所荷さばき所	宗像市・公共
14. 豊築漁協椎田町支所	築上町・民間	33. 芥屋第2駐車場	糸島市・公共
15. 豊築漁協椎田町宇留津	築上町・民間	34. 福吉しおさい公園	糸島市・公共
16. 日本コークス工業株式会社	若松区・民間	35. コスモ海洋株式会社	門司区・民間
17. 白島国家石油備蓄基地事務所	若松区・公共	36. 株式会社 若港	若松区・民間
18. 大和漁業協同組合	柳川市・民間	37. 株式会社 若港 苅田事業所	苅田町・民間
19. 岐志観光休憩所	糸島市・公共	38. 若築建設九州支社工事現場	県内・民間

8 救難資器材整備

下表の資器材を各救難所に配布し、救難資器材の整備を図った。

品名	数	金額(円)	対象救難所	備考
作業服、作業帽	14	180,620	福吉、津屋崎、岐志新町、相島	
もやい銃空砲	12	93,720	岐志新町	
充電式フラットスタンドライト	1	20,900	神湊	
安全帽(名前入り)	27	74,250	芦屋	
LEDサーチライト充電式	2	26,400	神湊	
強カライト	6	108,900	野北	
バッテリーチャージャー	1	38,500	相島	
膨張式胴衣(名前入り)	48	1,214,400	小呂島、野北、鐘崎	
携帯拡声器	1	20,350	野北	
携帯発電機	2	191,400	船越、長浜	
水中ポンプ一式	2	150,678	岐志新町	
係留索、回転灯一式	1	76,900	刈田	
法被	24	554,400	役員、築上町	
自動体外式除細動器(AED)	6		芥屋、深江、西浦、鐘崎、有明マリン	リース料
送料		10,120		
合計		2,761,538		

(注)合計金額は、救難器具購入費の合計額を記載。(リース料に係る経費を除く。)